

第3学年2組 国語科学習指導案

平成19年2月7日（水）第2校時

1. 題材名 「モチモチの木」 （斎藤隆介 作）

2. 題材の目標

- ・場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読む。（読むことウ）
- ・読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いがあることに気付く。（読むことエ）
- ・発表会などで伝えたいことを選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話す。（話すこと聞くことア）
- ・相手や目的に応じて適切に書く。（書くことア）

3. 題材について

児童は、今年度の国語科・物語単元の学習においては、「三年とうげ」「ちいちゃんのかげおくり」といった作品を教材として、他の登場人物と関連づけて主人公の気持ちを読み取ったり、登場人物の心の動き、および場面の情景を豊かに想像しながら音読したりする学習活動を行ってきている。こうした学習のまとめとして、「モチモチの木」では物語の主題に迫る読みの力を身につけさせたい。

4. 児童について

学級全体として活発な児童が多く、発表することに抵抗が無い児童が多い。しかし、中には全体の前では絶対に発表できない児童も数名いる。授業では、4～5名の生活班を基盤とした活動を中心にして、すべての児童が話し合いに参加しているという意識を持てるようにしたい。

児童はこれまでに、自分の考えを持ちその理由を発表する活動を行ってきている。「ちいちゃんのかげおくり」の学習で、「ちいちゃんが本当に幸せなのはどの場面か」という問いに対して、子どもたちは、自分の考えを友だちに伝え、同調してもらうために意欲的に発表していた。しかし、主張することがほとんどで、聞き比べて納得したり、意見をまとめたりすることは十分ではなかった。これをふまえて、「モチモチの木」では、自分の意見も友だちの意見も大切にしながら話し合いを進める中で、物語の主題にせまることができると考える。

5. 指導について

前半の読み深める授業では、「豆太は本当に臆病なのか。」という問いを継続的に投げかけていくことで、場面や状況が変わる中での豆太の行動と心情をつかませていきたい。そして最終的には「臆病か臆病でないか」が大切なことではなく、他に本当に大切なことがあるということ、つまり作品の主題に自然に気付くことができるようにしたい。

後半の学習したことを生かして活動する授業では、児童一人一人が学習の中心となるように活動の幅を広げたい。児童は自分で学習計画を立てるのは初めての経験であり、戸惑う児童も多いと思われる。これまでの学習を振り返ると同時に、「モチモチの木」を十分に読み深めて愛着を感じさせることが、学習意欲の高揚と継続に必要である。また、個別での活動が中心となるが、状況に応じて複数での活動を認めるなど、個に応じた対応も柔軟にし、学び合いの学習を進めていきたい。

6. 指導計画（全19時間 本時3 / 19）

時	学習内容	ねらい	関	話	書	読	言	評価規準
1	学習の見通し 音読	一年間の学習を振り返り， 学習の見通しを持つことができる。	◎					進んで物語を読もうとし，感想を書いている。
2	初発の感想 音読	友だちの感想と比べながら 聞くことができる。		○	◎			
3 (本時)	豆太は臆病かどうか 考える	全文を読んで，自分の考え を持ち，話し合うことができる。		◎		○		自分と友だちの意見を比べながら，話し合いに参加している。
4	場面を読み取る	場面や状況の変化にともな う，豆太の行動や心情の変 化を読み取ることができる。	○	◎	○	◎		人物像とその関係を理解している。 自分と友だちの意見を比べながら，話し合いに参加している。
5	「おくびょう豆太」							
6	「やい，木い」							
7	「霜月二十日のぼん」							
8	「豆太は見た」前半							
9	「豆太は見た」後半 「弱虫でもやさしけりや」 音読	人物の心情や場面の様子が よく分かるように工夫して 音読できる。					◎	工夫をし，気持ちをこめた音読をしている。
10	学習発表会に向けて 学習課題を決め計画 を立てる	自分で学習課題を決め，学 習方法を工夫して活動に取 り組むことができる。	◎					学習課題を決め， 進んで活動に取り組んでいる。
11	個別の学習計画に沿 って進める				◎	○	○	
12								
13								
14	中間発表を開きアド バイスし合う	友だちの発表を聞き，アド バイスすることができる。	○	◎				ほめたりアドバイ スしたりしている。
15	次時からの計画を立 て，学習を進める	自分の学習計画を見直し， 発表に向けた活動を仕上げ ることができる。						学習計画を見直 し，活動を進めて いる。
16	仕上げの準備や練習 をする							
17								
18	学習発表会を開く	自信を持って発表したり， 友だちの発表を聞いたりし て，学習のまとめができる。		◎			○	堂々と発表し，友 だちの発表にも関 心を持てる。
19	学習の振り返りをす る							

7. 本時の目標

「モチモチの木」の全文を読んで自分の意見を持ち，友だちと話し合う中で考えを深め，今後の学習に意欲を持つことができる。

8. 準備物

短冊（8班分）マジック 挿絵

9. 本時の学習過程

学習活動	支援（・）と評価（☆）
<p>○「モチモチの木」を音読する。</p> <p>○作者，登場人物，主人公の確認をする。</p> <p>○本時の学習課題を確認する。</p> <div data-bbox="124 725 805 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>豆太はおく病か。</p> </div> <p>○ノートに自分の考えと理由を書く。</p> <p>○班で話し合い，意見と理由をまとめる。</p> <p>○班ごとに，話し合った結果を短冊に書き，黒板にはる。</p> <p>○班ごとに発表する。</p> <p>○賛成意見や質問などを発表し合う。</p> <p>○次時の学習を伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・起立して，場面ごとに体の向きを変えて音読し，終わったら着席させる。 ・適度な速度と音量で，丁寧に音読させる。 ・前時の初発の感想から引き出した課題であることを確認する。 ・理由が書けなくても，考えだけは必ず持てるようにする。 ・班員が必ず意見を述べられるように，発言の順番と話し合いのリーダーを決める。 ・友だちの意見と自分の意見を比べながら聞くようにさせる。 ・少数派の意見から発表ができるように配慮する。 <p>☆自分の意見を述べているか。</p> <p>☆友だちの意見を聞き考えを持てたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の学習においてもずっと，「豆太はおく病か。」を考えていくことを伝える。